

○ 調査問題

- (1) 高山さんは学級新聞でどのような工夫をしていますか。次の1〜5の中からふさわしいものを、二つえらびましょう。
- 1 メイの世話をする手順を、写真などの資料を用いて書いている。
  - 2 メイの注目してほしい所を、呼びかけの言葉を用いて書いている。
  - 3 メイのくわしい情報を、メイとほかのヤギをくらべて書いている。
  - 4 メイの思い出を、音や動きをあらわす言葉を用いて書いている。
  - 5 メイのふだんの様子を、自分が体験したことにもとづいて書いている。

【高山さんと林さんの会話】

林さん： 学級新聞を読んでメイとふれ合ってみたいと思いました。ふれ合うことはできませんか。

高山さん： はい、できます。ふれ合うときに、気をつけてほしいことが三つあります。一つめは、ふれ合う前と後に手を洗うこと、二つめは、生き物係や先生につきそってもらうこと、三つめは、大きな音を出さないようにすることです。

林さん： 大きな音を出さないようにするのはなぜですか。

高山さん： ヤギはとてもこわがりです、大きな音を出すとおどろいてにげてしまうからです。

林さん： わかりました。ありがとうございます。

【学級新聞の一部】

学校にくらす生き物を知ろう

みなさんは、生き物係が中心となって世話をしているヤギの「メイ」を知っていますか。

メイはメスのヤギで、二オになります。毛は白く、さらさらです。

生き物係は、曜日ごとに交代でエサをあげたり、ヤギ小屋のそうじをしたりしています。エサは、主に牧草をあげますが、メイがあきないよう野菜や野草くずもあげます。

メイは高いところがお気に入りです、そうじ中は、よく木の台の上にあります。ヤギは足の先がヒツメになっているため、木や岩場なども軽々とのぼるそうです。

うれしいときは、犬のようにしっぽをふって、こちらに向かって何度も鳴きます。とてもかわいいので、みなさんもメイに会ったら、しっぽに注目してみましょう。(高山 はな)



↑木の台に上がるメイ(写真)

14 高山さんは生き物係で、学校で飼っているヤギの「メイ」について学級新聞で紹介することになりました。次は、高山さんが書いた【学級新聞の一部】と、それを読んだ【高山さんと林さんの会話】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 発表の内容を理解する。

【問題の内容】

- 学級新聞の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。

○ 誤答分析

解答類型	正答「2」と「5」を解答	「2」と「5以外」を解答	「2以外」と「5」を解答	その他の解答	無解答
解答率	16.2%	28.3%	21.3%	25.1%	9.2%

- 正答率は、16.2%と低く、ほとんどの児童が呼びかけの言葉などの文末表現や内容の中心がどのようなことなのか、どのような内容のまとまりで書かれているのかを理解することができていない。
- 相手を意識した呼びかけの言葉や文末表現については理解しているものの、どのような内容のまとまりで書かれているのかを理解することができていない児童が28.3%であった。
- どのような内容のまとまりで書かれているのかを理解することはできても、相手や目的を意識した表現になっているのかを理解することができていない児童が21.3%であった。
- 内容、表現のしかたの両方を理解できていない解答は、全体の25.1%であった。無解答率と合わせると全体の約3分の1を占めている。

## ○ 指導上のポイント

### 書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える指導

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。【学習指導要領 第3学年及び第4学年 B書くこと イ】

〈学習活動①〉

- 同じニュースを扱った二社の記事を読み比べ、中心となる事柄や、それに関わる他の書きたい事柄にどのような違いがあるか話し合う。

さまざまな情報を伝える新聞にはどのような工夫がありますか。



この前生まれたウサギの赤ちゃんのことを観察して知らせたいな。



新聞記事には写真や図があるものもあるね。ぼくたちの記事には必要かな。



見出しを読むだけでなんの記事かわかるなあ。見出しに伝えたいことをまとめるのがポイントだね。



実は、ウサギの赤ちゃんがあなの中にかくれていることをくわしく教えようよ。

- 実際の新聞を教材として特徴を確かめ、読み手に分かりやすく伝えるための工夫を捉えさせるとともに、自分たちの新聞で伝えたいことを友達と話し合うことで書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることが大切です。

【「授業スタンダード」の視点：「問い」を引き出すために教材との出合わせ方を工夫する】

書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。【学習指導要領 第3学年及び第4学年 B書くこと オ】

〈学習活動②〉

- 互いに書いた新聞の下書きを読み合い、その内容や表現について感想や意見を述べ合う。

しゅう委員さんの仕事の内容とインタビューしたことは段落をわけた方が分かりやすいと思うな。



きょうみをもってもらうために、「みなさんは、ウサギの赤ちゃんが生まれたことを知っていますか。」と、問いかけから書いてみたらどうかな。

- 自分の文章のよいところを見付けるには、①記述した内容、②相手に配慮したこと、③記述の仕方で工夫したこと、④なぜそのような考えに至ったのかについてのきっかけなど、共有する視点を明確にしてグループ活動を取り入れることが大切です。

【「授業スタンダード」の視点：目的を明確にしたペアやグループの話合いで思考を整理する】

## ○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

【出典】  
「活用力育成シート」  
令和元年度 第二回 小学四年

1	
2	

から一つ選んで、その記号を書きましょう。

1、 2 に最も当てはまるものを、次のア～オまでの中

ア 書き出しを、問いかけからはじめる工夫をしていて

イ クスノキに似ているきょうりゅうの皮を写して

ウ 見てほしいみきの皮の部分だけを、大きく写して

エ クスノキのある場所を、地図でくわしく教えて

オ クスノキが死んでいないことを、写真で教えて



わたしは、はじめの部分がいいと思いました。2、読む人のきょうりゅうを引くと思うからです。もっときょうりゅうを引くために、最後に三年生に呼びかけるメッセージを入れてみてはどうでしょう。

山田さん

西田さんは、写真や図を使ってわかりやすくしようかいいところがいいと思います。写真②は、1、わかりやすいです。

春山さん

二 西田さんは、「図かんの原こう」の工夫したところについて、同じグループの友だちのみんなと伝え合い活動をしました。同じグループの春山さんと山田さんは、西田さんの「図かんの原こう」を読んで、次のように話し合いをしています。

○ 調査問題

14

本を読んでいるうちにねてしまって、ぼくは

本を読んでいるうちにねてしまって、妹がぼくを起こした。

14

次の □ の文は、田中たなかさんが書いた文です。田中さんは文の見直しをして、文の途中とちゆうで主語が変わっていて読みにくいと思います。書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、あとの □ にあてはまる言葉を書きましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 文の構成を理解し、適切な形に書き換える。

【問題の内容】

- 主語と述語の関係を理解し、適切な文の形に直して書く。

○ 誤答分析

解答類型	正答	その他の解答	無解答
解答率	<b>58.0%</b>	38.9%	3.1%

- 主語と述語の関係を理解し、「妹に起こされた」「妹に起こされました」と解答することができた児童は、58.0%であった。
- 多く見られた誤答例として、「妹を起こした」が全体の7.4%であった。「妹を起こした」と解答した7.4%の児童、無解答であった3.1%の児童は、主語と述語の適切な係り受けについて意識して読むことができていないと考えられる。

## ○ 指導上のポイント

### 主語と述語の関係などに注意して文を正しく書く指導

間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えること。  
【学習指導要領 第3学年及び4学年 B書くこと エ】

- 書いた文章を読み直す。
- ・書いた文章を読み直し、主語と述語の係り受けが合っているか確かめる。
- 文章を読み返すときのポイントについて話し合う。

【「授業スタンダード」の視点：目的を明確にしたペアやグループの話合いで新たな気づきを促す】



線を引いた文のところで、少し読みにくさを感じるな。



主語が「ぼく」から「妹」に変わったから読みにくいのかな。



「妹がぼくを起こした」の主語を「ぼく」にしたらどうかな。



でも「ぼくは妹を起こした」になると、意味が変わるから気を付けないとね。

- 文章を読み返すときのポイント
- 主語と述語とのつながりを考える。
  - 意味が変わっていないか確認する。

めあて  
相手に正しく伝わる文章にするために、文章を読み返そう。

今日は、妹と近くの公園で遊ぶやくそくをしていたけど、雨がふってきたので、部屋で本を読んだ。本を読んでいるうちにねてしまって、妹がぼくを起こした。雨がやんだので、にわで妹とおいかけっこをして遊んだ。

どのように書き直せば読みやすくなるか

主語は「ぼく」

本を読んでいるうちにねてしまって、  
ぼくは

○妹に起こされた。  
×妹を起こした。 } 意味が変わっている。

- ◎ 書いた文章を推敲する学習を繰り返し、書き直したものが読みやすくなり、相手に伝わったということを児童が実感できるように指導することが大切です。

## ○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

【出典】  
「全国学力・学習状況調査」  
平成三十年度 小学校 国語A

選んだ文の番号・・・  
書き直した一文

〈問い〉  
部と部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

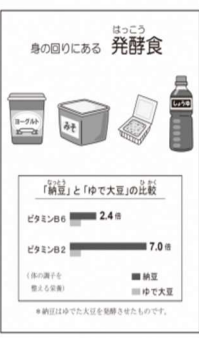
【春休みの出来事の一部】  
文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものとなりました。④反省点：用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

⑤大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、部と部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで、あとの〈問い〉に答えましょう。

○ 調査問題

- 5 「発酵食」は、他の食品と比べて保存性が高いことが伝えられる。
- 4 「発酵食」には、栄養分が多くふくまれていることが伝えられる。
- 3 「発酵食」へと、さまざまな食品が変化していくことが伝えられる。
- 2 「発酵食」が、身の回りにもあるものだということが伝えられる。
- 1 「発酵食」は、うまみや風味が豊かであることが伝えられる。



(2) 【話し合いの様子】に、資料を示すこととありますが、話し合いのあと、石田さんたちは発表で次の資料を提示することになりました。この資料を示すことの効果として適切なものを、あとの1～5の中から二つ選びましょう。

石田さん… 原稿の「発酵食とはどのようなものか」についての部分をどう直せばいいか話し合いました。

山村さん… 発酵食は「食品を変化させたもの」ということですが、食品が変化するというのがどういうことか伝わりにくいと思います。

花田さん… 「何が」「どのように」変化するのかを具体的に書いた方が伝わりやすいと思います。

山村さん… はい、そうですね。

花田さん… いいですね。

石田さん… 他に意見はありませんか。

長井さん… 聞いている人が納得できるように資料を示すと良いと思います。

話し合いは続く。



【話し合いの様子】

次に「発酵食」とはどのようなものか説明します。

「発酵食」とは微生物の力で食品を変化させたものです。

「発酵食」の特徴は主に四つあります。一つめは、ビタミンなどの栄養が多くふくまれていることです。二つめは、うまみや風味が豊かということです。三つめは、腸内の環境を整えてくれることです。四つめは、保存がきくものもあることです。「発酵食」は私たちの健康を保つためにもよいものなので、食生活に取り入れたいですね。

「発酵食」は、私たちの身の回りにたくさんあります。たとえば、納豆や、キムチ、しょうゆや、みそ、お酢やヨーグルトなどです。

原稿は続く。

14 石田さんのグループは、「発酵食」について調べたことをクラスで発表することになりました。次の【発表原稿の下書きの一部】と、推敲のための、グループの【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原稿の下書きの一部】

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の趣旨】
- 資料を活用する。
- 【問題の内容】
- 資料を用いることによる効果を選択する。

○ 誤答分析

解答類型	正答「2」と「4」を解答	「2」と「4以外」を解答	「2以外」と「4」を解答	その他の解答	無解答
解答率	28.6%	10.0%	40.1%	16.6%	4.7%

- 正答率は、28.6%である。「資料を示すことの効果として適切なものを二つ選ぶ」問題であるが、正答の一つである「4」を選択することができた児童は68.7%にのぼる。その一方で、「2」を選択することができた児童は38.6%にとどまった。
- 【発表原稿の下書き】のどの部分について資料を示すとよいかについては、【話し合いの様子】の中で話されていない。そのため、【発表原稿の下書き】の文章と「この資料」の図表などの情報を関係付けて検討することが求められる。一方の情報のみに着目し、【発表原稿の下書きの一部】で取り上げられている言葉を根拠として選択したと考えられる。
- 「栄養分」と「ビタミン」の関連は捉えやすかったが、「身の回りにもある発酵食」と「図」の関連が捉えにくかったと考えられる。



## ○ 指導上のポイント

### 考えを伝えるために、資料を活用する指導

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

【学習指導要領 第5学年及び第6学年 A話すこと・聞くこと ウ】

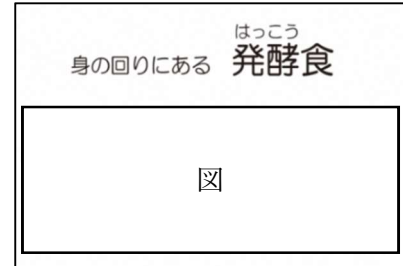
- 情報と情報の関係付けの仕方について理解できる学習を設定する。



【A】



【B】



【C】

児童には、【A】の資料を見たときに「表題」と「図」の関係を把握する力が求められます。その関係を具体的な学習場面で理解させるためには、【B】や【C】の資料のような一部情報が伏せられているものを提示し、伏せられている部分について考えさせる学習に取り組むことが有効です。「図」と「表題」の関係を把握させる上で、新聞や広告、パンフレットやポスター等を教材として活用することも考えられます。

- 伝える相手や目的を意識した学習を設定する。

聞き手の興味・関心や情報量を予想し、補足説明が必要な箇所や言葉だけでは伝わりにくい内容について、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要です。その際、資料の順番を変えたり、資料を提示しながら話す仕方について検討したりすることが求められます。

集めた資料を活用する際には、資料の中の「表題」「図」「グラフ」「数値」「説明」等が話す内容とどのように関係しているのか、目的や相手、状況などを踏まえ、話す内容と資料との整合について検討する学習を取り入れましょう。

【「授業スタンダード」の視点：理由や根拠を基に判断する場を設定し、考えを共有・吟味する】

## ○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

【出典】  
「活用力育成シート」  
令和二年度 第一回 小学六年

ア 地震の被害の様子が分かる写真を示すことで、災害の大きさを伝えようとしている。  
イ 避難訓練の体験談を引用して話すことで、訓練の具体的な内容を伝えようとしている。  
ウ 防災設備のある場所の地図を示すことで、聞き手に興味をもってもらうようとしている。  
エ 地震発生回数のグラフを示すことで、地震回数の変化を視覚的に伝えようとしている。  
オ 非常持ち出しぶくろの中身の写真を示すことで、初めて見る人にも分かりやすくしている。

一 【パネルディスカッションの様子】の北原さんと夏川さんは、自分の考えがよく伝わるように、工夫しながら説明をしています。【A・B】のところ二人が工夫した意図として最も当てはまるものを、次のアからオまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

○ 調査問題

- (1) 岸本さんのインタビューのしかたの工夫として適切なものを、次の1〜5の中から二つ選びなさい。
- 1 質問の答えに相づちを打つことで、相手が話をしやすいようにしている。
  - 2 言葉をかえて質問をくりかえすことで、意図を正しく伝えようとしている。
  - 3 質問の答えに対してさらに理由をたずねて、相手から話を引き出している。
  - 4 事前に調べた内容と比べながら質問して、新たな情報を得ようとしている。
  - 5 相手の言葉を言い換えてたずねて、自分の理解が正しいかを確認している。

14 岸本さんは、クラスで地域の文化を紹介するために、和紙作り工房で働く宮田さんにインタビューをしました。次の「インタビューの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの一部】

岸本さん… この地域には和紙作りの工房がいくつありますが、和紙作りがきかんのですか。

宮田さん… はい、そうですね。この辺りは和紙作りに適していて、千三百年ほど前から和紙が作られていると言われてます。

岸本さん… なぜ、この辺りは和紙作りに適しているのですか。

宮田さん… 和紙を作るための植物と、和紙作りに欠かせないきれいな水があるからです。

岸本さん… 和紙を作るための原料と環境がそろっているということでしょうか。

宮田さん… そうです。

岸本さん… 和紙の原料について教えてください。

宮田さん… 和紙の原料には「コウソ」や「ミツマク」などがありますが、この地域では「コウソ」を原料に使っています。「コウソ」はクワのなかまの低木です。

岸本さん… 「コウソ」で作った和紙には、どのような特徴がありますか。

宮田さん… 「コウソ」は光沢があって繊維が長いので、美しく丈夫な和紙ができます。

岸本さん… よくわかりました。

宮田さん… ここで作っている和紙には、色がやや黄ばんでいるという特徴があります。製作過程で、和紙の色を白くするための薬品を使わないからです。

（インタビューは続く）

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- インタビューのしかたを工夫する。

【問題の内容】

- インタビューのしかたの工夫として適切なものを選択する。

○ 誤答分析

解答類型	正答 「3」と 「5」を解答	「3」と「5 以外」を解答	「3以外」と 「5」を解答	その他の解答	無解答
解答率	17.4%	44.9%	13.1%	23.3%	1.3%

- 正答率は17.4%と低い。
- 主な誤答は「『3』と『5以外』を解答」であった。正答と併せて考えると、「3」を選ぶことができた生徒は約62%であり、「5」に課題が見られる。「相手の言葉を言い換えてたずねて、自分の理解が正しいかを確認している」部分がどこか、【インタビューの一部】と照らし合わせて判断できなかったと考えられる。





○ 調査問題

【体育祭の「スローガン」募集のお知らせの下書き】

(2) 文末の表現が他と異なる一文があります。その文末を他の文末と同じように書き直さない。

7月5日  
第三中学校生徒会

**体育祭の「スローガン」募集のお知らせ**

夏休みが目前となりました。みなさん、部活動に勉強に頑張っていることでしょう。

さて生徒会では、10月実施予定の体育祭のスローガンを募集しています。過去4年のスローガンは「1. 走れ、走れ、走れ」、「2. つかめ勝利を」、「3. 闘志が叫ぶ」、「4. 魂が躍る」でした。今年も第三中学校の熱い体育祭にふさわしいスローガンの応募をお待ちしています。

記

1. 募集期間 7月5日(金)～7月19日(金)

2. 提出場所 生徒会室前の回収箱

3. その他 ・スローガンは10字以内としてください。  
・スローガンは生徒会役員で協議して決める。  
・結果は、9月はじめに発表します。

以上

9 生徒会役員の山下さんは体育祭に向けて「『スローガン』募集のお知らせ」を書いていきます。次は、その【体育祭の「スローガン」募集のお知らせの下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 文を読み返し、さらにより良い文にする。

【問題の内容】

- 敬体・常体の不統一を正し、より良い表現に直して書く。

○ 誤答分析

解答類型	正答	その他の解答	無解答
解答率	<b>58.2%</b>	26.6%	15.2%

- 正答である常体を敬体にして「決めます」とした解答率は 58.2%、「その他の解答」の解答率は 26.6%である。無解答率は 15.2%と高い。
- 誤答例としては、「勝利をつかめ」と解答しているものの割合が多く、解答類型「その他の解答」内の 36%を占めている。「一文」「文末」などの言葉を正しく捉えられていない、または、倒置法などの修辞に対する知識が不十分であることが考えられる。

○ 指導上のポイント

表現の効果を確かめて、文章を整えさせる指導

読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。

【中学校学習指導要領 第2学年 B書くこと エ】

【下書き】

「地球環境を守ろう」という本によると、これからは地球の気温の上昇は進むそうです。このままでは、大きな災害が起こるかもしれません。

【推敲後】

私は、地球温暖化に対する対策を積極的に行うべきだと思います。「地球環境を守ろう」という本には、「今後、地球の気温の上昇は進む」と書かれています。このままでは、これからは地球温暖化は進むようです。大きな災害が起こる可能性もあると思います。

〈授業例〉

- ① 「環境問題」をテーマに各自が意見文を書く。
- ② 読み手に分かりやすい文章になっているかを友達と話し合う。
- ③ 推敲のポイントをまとめる。
- ④ 各自で文章を見直す。

主張を先に書いて、引用文は「」にすればどうか。

文末表現を工夫して、事実と意見を区別した方がいいね。



【「授業スタンダード」の視点：論点や議題を明確化し、理由や根拠を基に判断する】



書いた文章を相互評価する活動を通して、生徒自らが、よりよい文章にするための観念に気付くことが大切です。また、振り返りの時間を確保し、よりよい文章を書くポイントを可視化し、他でも使える力として育てていきましょう。

○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

【出典】「活用力育成シート」  
令和元年度 第三回 中学一年

○ たとえ、聖火リレーのランナーとして実際に自分が走らないとしても、

(1) 山下さんは、〈提案書の下書き〉に次の言葉を書き加えることにしました。ア〜エのどの部分に書き加えますか。

植える花として提案したいのは、

〈提案書の下書き〉  
生徒会でも、オリンピック・パラリンピック開催に向けて、何かできることはないかと考えてみました。(ア) 私たちが住んでいる地域では聖火リレーが実施されます。まずは、この聖火リレーを盛り上げ、応援に来る人たちが喜んでくれるようなおもてなしをしたいと考えます。具体的には、(イ) 地域の婦人会にも協力いただいで、聖火ランナーが走る沿道に花を植えることを提案します。

三 山下さんは〈話し合い〉の内容を文章にまとめ、顧問の先生に提案書として提出することにしました。次は、山下さんが書いた〈提案書の下書き〉の一部です。

〈話し合い〉

学校でもオリンピック開催に向けて、応援にいらっしゃる方をもてなすために何か取り組めることはないか考えました。地域の婦人会の方々と一緒に沿道の脇に花を植えるのはどうでしょうか？  
山下さん

聖火ランナーが走る時に沿道に花が咲いているといいですね。応援にいらっしゃった方も喜んでもらえると思います。花の咲く時期なども調べて、植える花を決めるのはどうでしょうか？  
松本さん



植える時に花の名前が分かるようにネームプレートを作るのもいいですね。花は、できれば種から育てるのはどうですか？  
大野さん